出雲商工会議所

環境アクションプラン

第1期(令和6年度~令和8年度)

~小さくても「まず始めてみる」が大きな一歩!~



令和6年3月

1. 策定趣旨

世界的に脱炭素の機運が高まる中、本国においても 2030 年度の温室効果ガス 46%削減、2050 年カーボンニュートラルの実現という国際公約が掲げられ、気候変動問題に対して国家を挙げて対応する強い決意が表明されている。島根県でも 2021 年3月、出雲市では同年5月に 2050 年温室効果ガス排出実質ゼロ(ゼロカーボンシティ)が表明されており、地域内でもカーボンニュートラルを目指す動きが加速している。

このようななか、出雲商工会議所は地域総合経済団体として、地域の中小企業による脱炭素の取組みを後押しし、脱炭素社会の実現に貢献していくため、環境アクションプランを策定し、地域の先導役としての役割を果たせるよう努める。

2. 基本方針

出雲商工会議所として環境問題・省エネ推進に率先して取り組むことはもとより、会員企業が、自主的かつ持続的に環境に配慮した取り組みを行えるよう支援を行う。

3. 実施期間

第1期は令和6年度~令和8年度とする。

継続的な実施が必要であるため、第1期終了後に執行状況を検証・評価、必要に応じて内容を見直し、第2期アクションプランを作成する。第3期以降も同様とする。

4. 実施事業

(1)会員事業所の取組みへの支援

- ① 会員事業所の CO2 排出量の実態把握を支援するため、日商の「CO2 チェックシート」を周知し、活用促進を図る
- ② 会報・ホームページ・メールニュース等で環境経営に関する情報発信を行う
- ③ 会員事業所を対象に環境に関するアンケート調査を実施し、現状を把握して今後の取組の参考とする
- ④ 東京商工会議所が実施する e c o 検定(環境社会検定試験)の周知に努め、受験者増を図る

(2)地域・行政等と連携した取組みの推進

- ① 出雲市環境審議会への参画
- ② 出雲市地球温暖化対策協議会への参画

(3)事務局内の環境対策活動の推進

① 職員への環境教育

- ・ 月に1回取組状況をメール等で共有及び CO2 排出量削減につながる行動の呼びかけ
- ・ 半年に1回の職員研修及び取組状況の共有による職員の意識向上

② 自所のエネルギー消費量や CO2 排出量を把握

・ 日商の「CO2 チェックシート」を活用した現状の把握

③ 電力・ガス使用量の削減

- ・ 会館内等での不要時消灯の徹底(早朝出勤時や残業時の照明は使用箇所に限定、ロッカー 室や使用頻度が低いトイレ等不使用時の消灯の励行等)
- ・・・必要な区域や時間に限定した空調使用、使用していない部屋の空調の停止
- ・エレベーターの利用を控えて階段利用を推進
- · クールビズ・ウォームビズの実施
- ・ 事務室や会議室の室温が、夏 26℃・冬 22℃となるよう空調温度を設定
- OA 機器等の待機電力の遮断(夜間・休日は主電源を切る、省電力設定の活用等)
- 省エネ機器(空調設備、照明器具等)の導入
- ・・ノー残業デー、ロー残業デーの実施

④ ガソリン使用量の削減

- ・ 公用車のより低排出・低燃費な車種への買い替え
- ・ エコドライブ (急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等) の励行

⑤ 水使用量の削減

- ・ 歯磨きの際のコップの持参・使用の推奨
- トイレの大小レバーの使い分けの推奨
- ・トイレ擬音装置使用の推奨
- トイレ・給湯室等への節水の呼びかけの表示

⑥ 紙使用量の削減

- ・ 両面、集約印刷機能を活用したコピー用紙の使用量削減
- ・ 裏紙の再利用によるコピー用紙の使用量削減
- ・ 閲覧だけで済ませられる電子メールやインターネット情報の印刷の削減(印刷する場合は必要なページのみに限定)
- 事前の印刷プレビューの表示での印刷設定の確認徹底によるプリントミスを削減
- 会議、打ち合わせ資料のペーパーレス化
- ・ 電子決裁システムの導入によるペーパーレス化
- 紙媒体での保管文書・資料の電子化推進
- ・ デジタルサイネージの活用

⑦ 廃棄物排出量の削減

- ・ 職員のマイボトル持参を推奨し、使い捨て商品の利用量を削減
- ・ 懇親会における 20・10 運動の実施、発注量の見直しによる食品ロスの削減

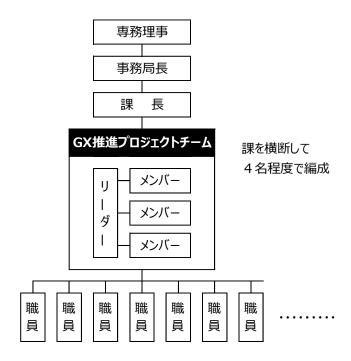
⑧ グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入・使用)の実施

・ グリーン購入法適合商品を積極的に購入(コピー用紙、名刺、パンフレット、トイレットペーパー等)

5. 実施体制・実施スケジュール・達成目標の検証

(1) 実施体制

総務企画課が主管し、計画を推進する。



(2) 実施スケジュール・達成目標の検証

項目	令和6年												令和7年度
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	以降
日商の「CO2チェックシート」を活用して現状													
のCO2排出量を把握													協前
CO2排出量の削減目標を設定				•									議 年 ・ 度
課長会議でCO2排出量削減状況を共有 (月に1回)					•	•	•	•	•	•	•	•	決 の 定 取
メール等によるCO2排出量削減状況の共													すり
有、CO2排出量削減につながる行動の呼び					•	•	•	•	•	•	•	•	る組
かけ (月に1回)													み
職員研修の実施、CO2排出量削減状況の													を
共有による職員の意識向上(半年に1						•						•	検
回)													証
CO2排出量削減状況、その他実施事業の													U
執行状況の検証・評価、アクションプランの見												•	`
直し													
会員事業所を対象とした環境に関するアン		CV世生系号会で投資のSS内容 味期が次字											
ケート調査の実施		GX推進委員会で協議のうえ内容・時期を決定											
その他の項目(通年)													